



学校だより

令和2年1月31日
広島市立戸坂小学校
第10号



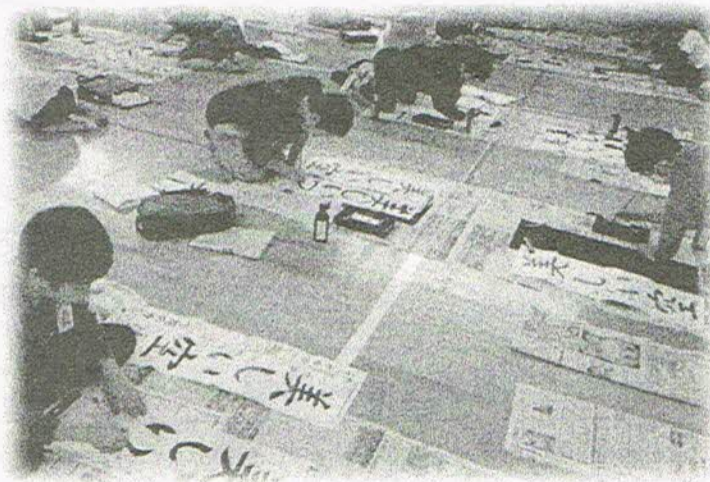
1月もあっという間に終わり、2月を迎えようとしています。もうすぐ立春です。暦の上では、冬が終わり、いよいよ春を迎えることになります。そのような中、6年生は中学校へ、他の学年の子どもたちは一つ上の学年への準備を意識しながら、学校生活を送っています。残り2ヶ月、「子ども達のさらなる成長」を目指し、充実した学校生活が送れるよう取り組んでいきます。

今月は、最後の参観懇談会を行います。子ども達の成長した姿をご覧いただいた後、懇談会で一年間の成長を確認できたらと思います。多数のご参加、お待ちしております。

書き初めをしました

毎年、長半紙を使う、5・6年生は学年で集まり、体育館で一斉に書き初めをします。今年は、4年生も体育館で書き初めを行いました。書き初めの文字は、年末から練習を始め、冬休み中は宿題として課題に取り組みました。

どの学年も、長半紙に向かう姿は、私語もなく、ひたすら筆を走らせていました。2時間続きの90分の授業でしたが、子ども達は集中して取り組み、あっという間に時間が過ぎていたようでした。



たてわり活動

運営委員会が中心となって、1から6年生が一斉に遊ぶ、今年の「にじいろ遊び」は、転がしドッジでした。

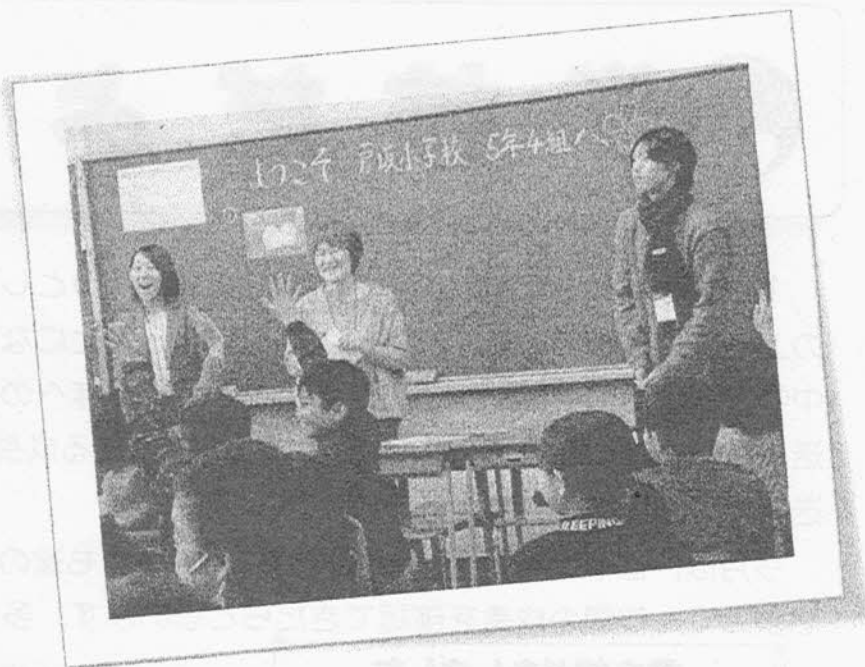
1つのボールで始め、次第にボールを増やしていきます。高学年の子どもは、低学年の子どもを気遣い、ゆっくりなスピードで転がしたり、ボールを譲って、転がさせたりしていました。学年が異なる子どもと一緒に遊んでいる時は、優しい雰囲気包まれます。



国際交流

23日（木）に、韓国からの留学生5名が、5年生と交流を行いました。留学生は韓国語と日本語の2か国語で、自己紹介をしていました。日本語を学ぶきっかけが、日本のアニメが好きであったことや、日本の文化に興味があったことなどの話から、子ども達は、一気に打ち解けたようでした。その後、韓国語のクイズやフルーツバスケットなどをして、さらに親近感を感じたようでした。給食を共にする時も、会話が弾み、談笑が絶えませんでした。

当初の予定では、給食終了までの交流でしたが、留学生たちが、別れが惜しみ、掃除も一緒にして、子ども達の下校時刻までの交流となりました。今回は、留学生と子どもの距離が近いクラス単位の交流でした。短い時間ながら、深い交流になったようでした。



最高学年の取組

2月から始まる「なわとび検定」に向けて、6年生が下級生にそれぞれの跳び方のポイントを大休憩の時間を使って教えています。6年生の学級代表が中心となって、自主的に学校の役に立つことは何だろうと話し合い、

この取組が始まりました。休憩時間になると、運動場には子どもがあふれかえっています。それぞれの学年でも友達同士で教えあっていますが、6年生から技のポイントを教えてもらうことは、一層、練習の意欲が増すようです。6年生の想いを生かすためにも、この取組が、戸坂小学校の子ども達のなわとびの技術向上につながればと期待しています。

